AGC
Your Dreams, Our Challenge

既存アスファルト防水下地改修工法

サラセーヌ® AS工法

2026年2月版

既存アスファルト防水下地改修工法

サラセーヌAS工法

近年、防水改修工事の現場では、既存の防水層を撤去せず、その上から新しい防水材を重ねて施工する「被せ工法」の採用が増えています。
これは、工期の短縮や、廃材を減らすことによる環境への負荷低減といったメリットがあるためです。特に、近年多発するゲリラ豪雨などによる漏水リスクを抑えるためにも、既存防水層を活かしつつ強化できる「被せ工法」は、ますます重要な改修手段となっています。
「サラセーヌAS工法」は、特殊な下地調整材を用いることで、既存のアスファルト防水層を撤去せずに、ウレタン塗膜防水を施すことを可能にしました。
「サラセーヌAS工法」で一度改修を行えば、次回以降は既存のウレタン防水層の上に塗り重ねて施工するオーバーレイ改修が可能となるため、ライフサイクルコストの低減にも寄与します。

※既存アスファルト防水層の劣化の進行度合いが顕著な場合はご採用いただけない場合がございます。その場合は、既存アスファルト防水層の撤去や機械的固定工法「サラセーヌAM工法」などをご検討ください。詳細については、弊社営業担当者までご相談ください。

ASベース

20kg/缶

特殊アスファルト系溶剤タイプの下地調整材です。アスファルト防水層に対して優れた接着性を発揮するため、ASベースを介して、既存アスファルト防水層上にQVシートを張付けられます。

適用下地	配合比	標準塗布量/m²	軽歩行可能時間※	QVシート張付け可能時間※
アスファルト防水	1成分	1.0kg程度	4時間	塗布後16時間以降

※20℃環境下における室内試験データです。保証値ではありません。

■使用上の注意

- 既存アスファルト防水層表面の砂溜り、泥、ゴミ、ホコリ、脆弱塗膜は完全に除去してください。
- 既存アスファルト防水層の状態に応じた適切な是正処置を行ってください（5ページ参照）。
- 既存アスファルト防水層表面を十分に乾燥させてください。
- ASベースの標準塗布量は下地の状態により増減します。
- 液だまりが出来てしまうと、表面に膜が張り乾燥不足になる恐れがあります。
- QVシートは、ASベースを塗布した日の翌日以降に速やかに張付け、十分に転圧してください。
- QVシート張付け前に接着を妨げる砂埃が付いた場合は清掃後、ANプライマーJを塗布してください。
- ASベース上は、QVシート、またはMBテープ100で完全に覆ってください。
- 降雨や降雪が予想される場合は、施工を見合わせてください。
- 乾燥前に降雨、降雪にあった場合は塗り替えてください。
- 成分の一部が缶底に沈殿している場合がありますので、開缶後、電動撹拌機で十分に撹拌してから使用してください。
- 開缶したまま放置すると、表面に膜が張る場合があります。その場合は、膜を除去してから使用してください。
- 乾燥時間は施工環境や塗布量によって変動します。

MDベース

原液 18kg/缶、混和材 7kg×2袋/箱

セメントを主成分とする下地調整材です。アスファルトに対して優れた接着性を発揮するため、MDベースを介して、立上り部や狭小部の既存アスファルト防水上にウレタン塗膜防水工法を施工できます。
また、仮防水性があるため、既存アスファルト防水層撤去後のモルタル・コンクリートに対する下地調整材としても活用できます。

MDベースをアスファルト防水上の下地調整材として使用する場合

標準配合比	塗布量/m²	乾燥時間（20℃）※
原液 9：混和材 7：水 1	1.0kg（0.5kg×2回）	2時間

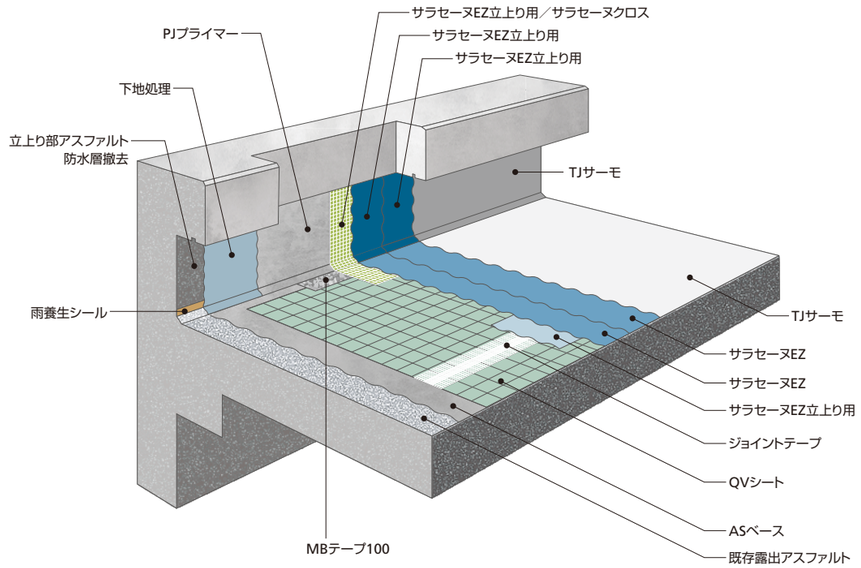
※20℃環境下における室内試験データです。保証値ではありません。

■使用上の注意

- 既存アスファルト防水層表面の砂溜り、泥、ゴミ、ホコリ、脆弱塗膜は完全に除去してください。
- 既存アスファルト防水層の状態に応じた適切な是正処置を行ってください（5ページ参照）。
- 既存アスファルト防水層表面を十分に乾燥させてください。
- 既存アスファルト防水層が完全に覆われる様に平滑に塗布し、十分に乾燥させてください。塗布後、ピンホールが発生した箇所や、既存アスファルト防水層が完全に覆われていない箇所は、再塗布してください。
- 既存アスファルト防水層を確実に絶縁させるため、MDベースの塗布回数と塗布量を必ずお守りください。
- 降雨や降雪が予想される場合は、施工を見合わせてください。
- 乾燥前に降雨や降雪にあった場合は塗り替えてください。
- 乾燥時間は施工環境や塗布量によって変動します。
- MDベースの仮防水性は、防水機能を保証するものではありません。
- MDベースはASベースの上に塗布することはできません。
- 乾燥時間は施工環境や塗布量によって変動します。

施工写真は説明用のイメージです。

アスファルト系下地調整材 ＋ 自着層付きシート



平場仕様

サラセーヌASQV-EZ50TJサーモ

	使用材料	使用量/m²
1	ASベース	1.0kg程度
2	QVシート	1.06m
	ジョイントテープ/EZ立上り用	1.06m
	MBテープ100	—
3	サラセーヌEZ	1.7kg
4	サラセーヌEZ	1.6kg
5	TJサーモ	0.2kg

立上り・笠木・架台仕様

サラセーヌSD-EZ立上り20TJサーモ

	使用材料	使用量/m²
1	PJプライマー	0.2kg
2	サラセーヌEZ立上り用	0.8kg
	サラセーヌクロス	—
3	サラセーヌEZ立上り用	1.1kg
4	サラセーヌEZ立上り用	0.7kg
5	TJサーモ	0.2kg

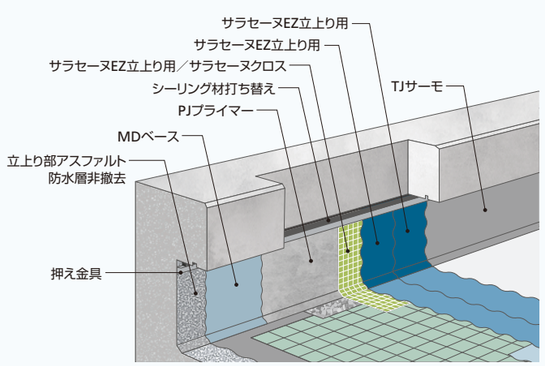
※既存アスファルト防水層撤去後は必要に応じて適切な下地処理を施してください。

立上り部のアスファルト防水層を撤去しない場合

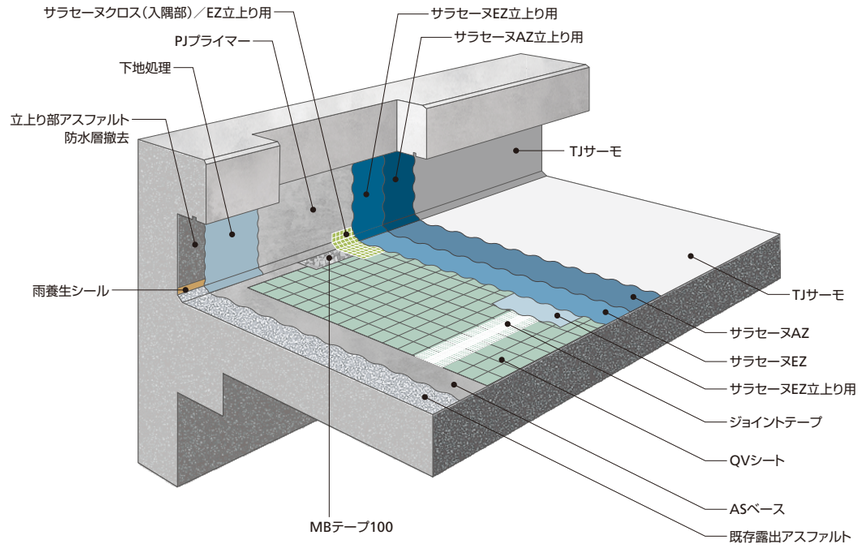
立上り部の既存アスファルト防水層は、原則として、防水層、固定金具ともに完全に撤去してください。
ただし、納まりや雨養生などの理由により撤去しない場合、アスファルト防水層との絶縁処理を目的として、下地調整材「MDベース」を塗布後、ウレタン塗膜防水工法を施工してください。

サラセーヌASSD-EZ立上り20TJサーモ

	使用材料	使用量/m²
1	MDベース（絶縁処理）	1.0kg（0.5kg×2回）
2	PJプライマー	0.2kg
3	サラセーヌEZ立上り用	0.8kg
	サラセーヌクロス	—
4	サラセーヌEZ立上り用	1.1kg
5	サラセーヌEZ立上り用	0.7kg
6	TJサーモ	0.2kg



アスファルト系下地調整材 ＋ 自着層付きシート（立上り補強布フリー）



平場仕様

サラセーヌタフガイASQV-AZEZ45TJサーモ

	使用材料	使用量/m²
1	ASベース	1.0kg程度
2	QVシート	1.06m
	ジョイントテープ/EZ立上り用	1.06m
	MBテープ100/サラセーヌクロス（入隅部）/EZ立上り用	—
3	サラセーヌEZ	1.3kg
4	サラセーヌAZ	1.2kg
5	TJサーモ	0.2kg

立上り・笠木・架台仕様

サラセーヌタフガイSD-AZEZ立上り20TJサーモ

	使用材料	使用量/m²
1	PJプライマー	0.2kg
2	サラセーヌEZ立上り用	1.3kg
3	サラセーヌAZ立上り用	1.2kg
4	TJサーモ	0.2kg

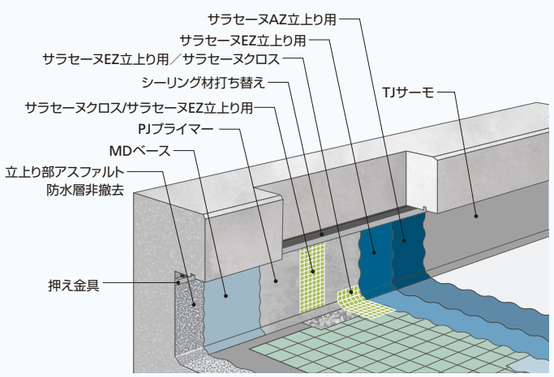
※既存アスファルト防水層撤去後は必要に応じて適切な下地処理を施してください。
サラセーヌクロスはクロステープに変更可能です。

立上り部のアスファルト防水層を撤去しない場合

立上り部の既存アスファルト防水層は、原則として、防水層、固定金具ともに完全に撤去してください。
ただし、納まりや雨養生などの理由により撤去しない場合、アスファルト防水層との絶縁処理を目的として、下地調整材「MDベース」を塗布後、ウレタン塗膜防水工法を施工してください。

サラセーヌタフガイASSD-AZEZ立上り20TJサーモ

	使用材料	使用量/m²
1	MDベース（絶縁処理）	1.0kg（0.5kg×2回）
2	PJプライマー	0.2kg
3	サラセーヌクロス/EZ立上り用（既存防水層接合部）	—
4	サラセーヌEZ立上り用	1.3kg
5	サラセーヌAZ立上り用	1.2kg
6	TJサーモ	0.2kg



サラセーヌAS工法ご採用時の注意事項

本工法をご採用される場合は、必ず以下の注意事項についてご了承ください。

■既存アスファルト防水層は、施工後の経過年数や使用状況、環境条件などによって、劣化の度合いが大きく異なります。事前に既存アスファルト防水層の状態を確認し、必要に応じて適切な是正処置を行ってください。詳細については、弊社営業担当者までご相談ください。

主な確認項目	是正処置方法例
防水層に浮きや膨れがある	防水層を切開し、乾燥後、トーチバーナーを用いて再接着させる。
防水層に破断や損傷がある	アスファルト系シート防水材などで部分補修を行う。
防水層接合部に剥離や口開きがある	トーチバーナーを用いて再接着させる。
断熱材の反り返りがある	断熱材を貼り直しのうえ、アスファルト防水層を復旧する。
保護塗料の劣化がある	高圧洗浄を用いて脆弱塗膜を完全に除去する。
押え金物・水切り金物に不具合がある	立上り部の既存防水層非撤去の場合、撤去・新設するなど正常な状態に復旧させる。 また、必要に応じて水切りテープの設置を検討する。
その他	新設するウレタン塗膜防水層に悪影響を及ぼす不具合については適切に処理する。

■立上り部の既存防水層非撤去の場合、端末シーリング材は必ず打ち替えてください。

■既存防水層接合部の不陸の影響などにより、仕上がり面に凹凸が目立つ場合や水溜りが発生する場合があります。

■既存アスファルト防水層上は、QVシート、または各種下地調整材を用いて完全に絶縁処理をしてください。絶縁処理が不十分な場合、新設したウレタン塗膜防水層の表面に塗膜の変色や物性低下などが生じる恐れがあります。

■既存アスファルト防水層接合部の段差など、ウレタン塗膜の厚みが薄くなりやすい箇所は、必要に応じて、ウレタン防水材の塗布回数を増やしたり補強用クロスを用いたりするなど、ウレタン塗膜の厚みが確保できる処置をしてください。

■ウレタン防水材を塗布する面にASベースが付着しないように注意してください。

■サラセーヌAS工法は遮熱仕上げとなります。遮熱用保護仕上材の詳細については、サラセーヌ防水総合カタログをご確認ください。

■既存アスファルト防水層に脱気筒がない場合、必要に応じてQVシートから既存アスファルト防水層下まで直径30mm程度切り抜き、その上に脱気筒を設置してください。

■仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

材料一覧/消防法区分

分類	品名		荷姿	消防法関係		特長・用途
				危険物区分	液比重	
プライマー／下地調整材	PJプライマー	1成分	16kg	4類1石（非水溶性）	1.01	ウレタン系一般モルタル・コンクリート用プライマー
	PJ層間プライマー	1成分	5kg	4類1石（非水溶性）	1.04	ウレタン系塗り重ね用・層間プライマー
	PW-100プライマー	主剤	3kg	非危険物	1.02	水性エポキシ系一般モルタル・コンクリート用プライマー 主剤：硬化剤：フィラー＝1：1：2
		硬化剤	3kg	非危険物	1.03	
		フィラー	6kg	非危険物	—	
	PW-60プライマー	主剤	0.5kg×2	4類2石（非水溶性）	1.10	水性ウレタン系塗り重ね用・層間プライマー 主剤：硬化剤＝1：10
		硬化剤	5kg×2	非危険物	1.01	
	PW-700プライマー	主剤	10kg	非危険物	1.06	水性エポキシ系金属下地用プライマー 主剤：硬化剤＝2：1
		硬化剤	5kg	非危険物	1.03	
	ANプライマーJ	1成分	15kg	4類1石	0.9	特殊ゴム化アスファルト系溶剤タイプ
	ASベース	1成分	20kg	4類2石	1.64	ASQV工法用特殊アスファルト系有機溶剤タイプ下地調整材
	MDベース	原液	18kg	非危険物	1.00	ASSD工法用ポリマーセメント系下地調整材
		混和材	7kg×2袋	非危険物	2.00	
	FCベース	主剤	1kg	4類3石（非水溶性）	1.10	モルタル・コンクリート下地用速硬型 水性エポキシ樹脂系エマルジョンタイプ下地調整材
		硬化剤	3kg	非危険物	1.02	
		粉体	15kg	非危険物	2.60	
防水材	サラセーヌEZ	主剤	8kg／6kg／180kg	4類4石	1.03	JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用防水材 主剤：硬化剤＝1：2
		硬化剤	16kg／12kg／180kg×2	4類4石	1.60	
	サラセーヌEZ立上り用	主剤	8kg	4類4石	1.03	JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上がり用防水材 主剤：硬化剤＝1：2
		硬化剤	16kg	指定可燃物可燃性固体類	1.60	
	サラセーヌAZ	主剤	8kg	4類2石（非水溶性）	1.03	JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形平場用防水材 主剤：硬化剤＝1：1
		硬化剤	8kg	4類4石	1.45	
	サラセーヌAZ立上り用	主剤	8kg	4類2石（非水溶性）	1.03	JIS A 6021ウレタンゴム系高強度形立上がり用防水材 主剤：硬化剤＝1：1
		硬化剤	8kg	非危険物	1.50	
保護仕上材	TJフッ素サーモ	主剤	2kg	4類2石（非水溶性）	1.02	フッ素樹脂系超耐候性遮熱用保護仕上材 主剤：硬化剤＝1：3
		硬化剤	6kg	4類2石（非水溶性）	1.10	
	TJサーモ	主剤	6kg	4類2石（非水溶性）	0.99	アクリルウレタン系遮熱用保護仕上材 主剤：硬化剤＝2：3
		硬化剤	9kg	4類2石（非水溶性）	1.16	
	TSサーモ	主剤	6kg	4類2石（非水溶性）	0.99	アクリルシリコーン系遮熱用保護仕上材 主剤：硬化剤＝2：3
		硬化剤	9kg	4類2石（非水溶性）	1.16	
副資材	QVシート	幅×長さ	1.04m×15m	—	—	自着層付き通気緩衝シート
	ジョイントテープ	幅×長さ	100mm×50m×4巻	—	—	QVシートジョイント処理用テープ
	MBテープ100	幅×長さ	100mm×20m×8巻	—	—	QVシート端末処理用テープ
	ECO用希釈剤	1成分	16L	4類1石（非水溶性）	0.77	ウレタン防水材専用希釈剤低臭タイプ
	ウレタン硬化促進剤EX※1	1成分	4kg	4類4石	0.99	特化則非該当ウレタン防水材（AZ･EZ）用硬化促進剤
	チップ#20	袋	0.3kg×4袋	—	—	保護仕上材粗面仕上げ用添加剤
	サラセーヌクロス#2000	幅×長さ	1m×100m	—	—	補強用ガラス繊維職布（平場・立上り兼用）
	サラセーヌクロス#4000	幅×長さ	1m×50m	—	—	補強用ポリエステル繊維職布（平場・立上り兼用）
	クロステープ#100	幅×長さ	100mm×50m×4巻	—	—	補強用ガラス繊維職布（クラック・出入隅など用）
	クロステープ#200	幅×長さ	200mm×50m×2巻	—	—	補強用ガラス繊維職布（シート端末部処理など用）
	TKパウダー	袋	5kg	—	—	ウレタン防水材用の増粘剤　水性保護仕上材用の艶消し剤
	サラセーヌSUS304脱気筒	箱	2個	—	—	平場用脱気筒
	サラセーヌ立上り用脱気盤	箱	5枚	—	—	立上り用脱気盤
	AG水切りテープ	箱	50mm×50m×4巻	—	—	ガラス繊維職布・ポリエステルフィルム パラペットアゴ用水切りテープ

※1：最大添加量は、サラセーヌAZが0.5%、サラセーヌEZが3%です。それ以上添加しても硬化速度の向上効果はなく、材料の物性が低下する恐れがあります。必ず規定添加量を遵守してください。
・ウレタン防水材はサラセーヌKシリーズ、サラセーヌSBシリーズ、サラセーヌAシリーズなどもご採用いただけます。詳細につきましては弊社営業担当者までお問合せください。
・使用する材料については「サラセーヌ総合カタログ　製品取り扱い上のご注意」をご確認ください。

AGCポリマー建材株式会社

首都圏支店　〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-3-8（沢の鶴人形町ビル）　TEL:03-6667-8421
仙台営業所　〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡２-２-１０（セントールビル）　TEL:022-299-6371
名古屋営業所　〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-25（日本生命広小路ビル）　TEL:052-219-5491
大阪営業所　〒553-0013 大阪市西区新町3-11-3（高六大阪ビル）　TEL:06-6606-9910
九州営業所　〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-10（第7グリーンビル）　TEL:092-431-5154
北海道出張所　〒060-0061 札幌市中央区南１条西９丁目（株式会社三田商店内）　TEL:011-241-5120

サラセーヌ公式サイトへはこちらから